

サマリ（和文）：

アブストラクト：

本ドキュメントでは、oneM2M 準拠のシステム、アプリケーション、および/もしくは 他の M2M システムのための通信プロトコルを規定している。また、本ドキュメントでは、oneM2M で定義された参照点をサポートするための共通のデータフォーマット、インタフェースおよびメッセージシーケンスを規定している。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本ドキュメントでは、oneM2M 準拠のシステム、アプリケーション、および/もしくは 他の M2M システムのための通信プロトコルを規定している。また、本ドキュメントでは、oneM2M で定義された参照点をサポートするための共通のデータフォーマット、インタフェースおよびメッセージシーケンスを規定している。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 プロトコルの設計原理および要求条件

M2M プロトコルに必要な設計原理および要求条件を示す。

6 章 oneM2M プロトコル/API 概要

oneM2M 準拠の M2M プラットフォームシステムが通信するためのメッセージフォーマットおよび手続きを示す。

7 章 oneM2M 手続き

フォーマットや手続き概要といった前提条件を示す。

8 章 データ転送におけるプリミティブ表現

XML ドキュメント、JSON テキストまたは CBOR データフォーマットでの、リクエストおよびレスポンスプリミティブを定義する。

付則 A（規則） Mch の課金用 Diameter へのバインディング

Mch の課金用の Diameter へのバインディングを示す。

付則 B（規則） 3GPP MTC とのインタワーク

3GPP MTC とのインタワークを示す。

付則 C（情報） XML の例

XML での記載の例を示す。

付則 D (規則) <mgmtObj>リソース特化

<mgmtObj>リソース特化のための構造および手続きを示す。

付則 E (情報) リソースへアクセスするための手続き

リソースへアクセスするための手続きを示す。

付則 F (情報) oneM2M リソースタイプ XSD のためのガイドライン

XML スキーマ定義生成時のガイドラインを示す。

付則 G (規則) 位置要求

<locationPolicy>の locationSource が Network Based であったときの位置要求について示す。

付則 H (規則) CMDH メッセージ生成

CMDH メッセージ生成について示す。

付則 I (情報) AE および CSE コードにおける XSD ファイルの利用ガイドライン

AE および CSE コードにおける XSD ファイルの利用ガイドラインを示す。

付則 J (規則) <flexContainer>リソース特化

<flexContainer>リソース特化を示す。

サマリ (英文) :

Abstract:

The present document specifies the communication protocol(s) for oneM2M compliant Systems, M2M Applications, and/or other M2M Systems. The present document also specifies the common data formats, interfaces and message sequences to support reference points(s) defined by oneM2M

Scope:

The present document specifies the communication protocol(s) for oneM2M compliant Systems, M2M Applications, and/or other M2M systems.

The present document also specifies the common data formats, interfaces and message sequences to support reference points(s) defined by oneM2M.